



平成18年10月17日

各 位

会 社 名 株式会社サダマツ
代表者名 代表取締役社長 貞松隆弥
(JASDAQ・コード2736)
問合せ先
役職・氏名 専務取締役 西川新二
電話 092-734-9657

平成18年8月期通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年8月期(平成17年9月1日～平成18年8月31日)の業績予想について、平成18年4月21日付当社「平成18年8月期中間決算短信（連結）」及び同日付当社「平成18年8月期個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成18年8月期業績予想の修正

(1) 連結（平成17年9月1日～平成18年8月31日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	7,490	150	80
今回修正 (B)	7,619	101	△38
増減額 (B-A)	129	△49	△118
増 減 率	1.7%	△32.7%	△147.5%

(2) 個別（平成17年9月1日～平成18年8月31日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	6,410	223	177
今回修正 (B)	6,625	196	110
増減額 (B-A)	215	△27	△67
増 減 率	3.4%	△12.1%	△37.9%

(3) 修正理由

売上高につきましては、九州地域において夏季の長雨による集客力の減少によって売上高の伸び悩みはありましたが、概ね順調に推移してまいりました。また、上期においてCRMシステムの旧ヴィエール店への導入が遅れておりましたが、4月以降に導入が進み7、8月と業績は上昇基調でありました。また、第42期売上高5,358百万円と比較して2,261百万円(42.2%増)の増加となったことは、売上高100億円体制の構築に向けて順調に推移しているものと捉

えております。結果といたしまして、7,619百万円（予想比129百万円の増）となる見込みであります。

経常利益につきましては、旧ヴィエールにおいて企画開発した商品のサダマツへの導入による売上総利益率の向上を企図しておりましたが、商品本部が東京・福岡に二元化したことにより商品情報の共有化の進捗が遅れたこと、原材料（金・プラチナ等）価格が高騰したこと等の要因により、予想通りの率の向上が図れませんでした。また、経費面におきまして福岡本社、東京支社に営業本部、商品本部および管理本部それぞれの業務が重複したため、販売促進費、物流経費、家賃および人件費等において経費増を招きました。結果といたしまして、101百万円（予想比：49百万円の減少）となる見込みであります。

当期純利益につきましては、下期において積極的なスクラップ&ビルド政策の一環といたしまして、将来的な立地傾向等を考慮して店舗の減損損失（15百万円）を計上いたしました。在庫面におきましてベトナム工場で生産される高付加価値商品導入のために在庫を評価替えし、商品評価損（30百万円）を特別損失計上いたしました。また、上記の理由により△38百万円（予想比：118百万円の減少）となる見込みであります。

(4) ご参考：前期の実績（平成16年9月1日～平成17年8月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
単独（9／1～8／31）	4,894	199	△65
連結（9／1～8／31）	5,358	142	△31

以 上